

木製引き戸の戸車交換方法

●下の表を目安にお選びください。(材質別特長一覧表)

	樹脂	LP	ステンレス	鉄
防さび性	○	○	△	×
静かさ	△	○	×	×
滑らかさ	○	○	△	△
強度	△	×	○	○

引き戸の開け閉めをスムーズにする

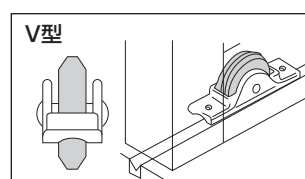
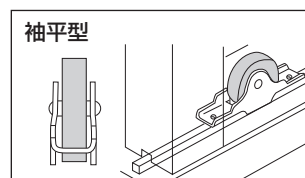
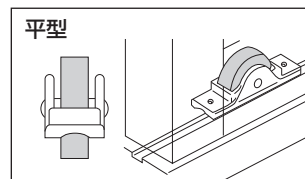
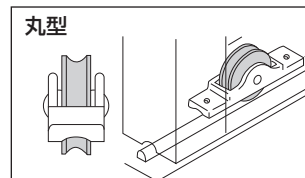
- 間仕切りの引き戸など、開け閉めが重くなったりスムーズに動かなくなったりするとき、引き戸の下についている戸車を点検してください。
- 引き戸をはずして、戸車を指で回してみても、軽く回れば正常。ゴミが詰まっているようなら取り除きます。
- 戸車の回転がスムーズでないとき、潤滑剤などに、付属のノズルをつけてスプレーすれば直る場合もあります。
- サビがひどかったり、すり減って軽く回らなくなっているようなら、戸車を取り替えます。



戸車の種類と取り替え

戸車には、丸型を走る一般的な丸型、敷居の上を走る平型、角レールを走り、脱線しないようにレールの両側にガイドがある、寒冷地に多い角型、そしてVレールを走るV型があります。V型は、走行性にすぐれていて、安定感がある最近のもので、レールが床に掘り込んであり、段差がないので、お年寄りや身体障害者にもやさしいバリアフリーの一つとして、よく使われています。戸車を選ぶときは、種類を確認し、古い戸車の車輪部分の直径をはかり、それと同じサイズを選びます。

戸車の種類



戸車には色々な材質があります。昔から使われているには、鋳物(鉄)製戸車ですが、サビやすいのが欠点。湿気が多い場所ならばステンレス製を選ぶと、サビにくく長持ちします。

音が静かなほうがよい場所ならLPプラス車を使うとよいでしょう。

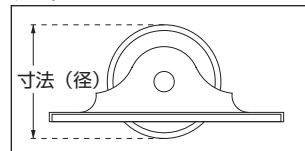
また、「ベアリング入り」と「ベアリング無し」との違いは、主に耐荷重の違いにあります。「ベアリング無し」の場合は重い戸に長年使用している内に軸と車輪との接点が摩擦し偏芯していき、次第に動きが重くなっていきます。そのため、ベアリング入りに比べて重い戸への使用は避けた方がよいということになります。

さて戸車の取り替えですが、一枚の引き戸には二つの戸車がついており、取り替えるときは、二ついっしょに取り替えるようにします。

- ①まず古い戸車をはずします。ネジ止めされているものはドライバーで、クギ止めは、ドライバーの先やクギヌキでこし上げてはずします。
- ②はずした跡のネジ穴やクギ穴は、ようじなどで埋めておくと、しっかり取り付けられます。
- ③新しい戸車は、引き戸の取り付け穴にきちんとおさまっていればよいので、クギ止め、ネジ止めどちらでもかまいません。

もし穴の部分の木が欠けたり、腐ったりして戸車が埋まりすぎたり、傾いたりしたときは、厚紙や木片をはさんみ込んで高さを調整してから少し長めのクギやネジで止めます。なお、クギ打ちするときは、金ツチで打ち込み、最後はクギ締めを当てて打ち込みます。クギ締めは狭いところ、溝や穴の中などにクギを打つとき、金ツチの補助として使う道具です。クギ締めのかわりに、少し長めのクギの頭を打ち込むクギの頭に当てて打つのも方法です。

戸車のサイズ



戸車の取り替え

